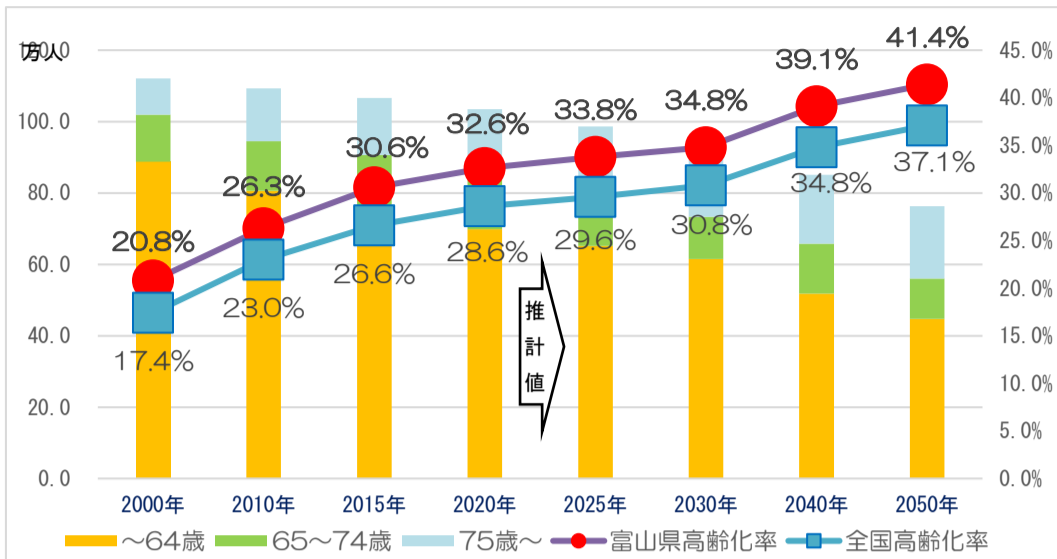


富山県の現状と推計

1 人口の推移

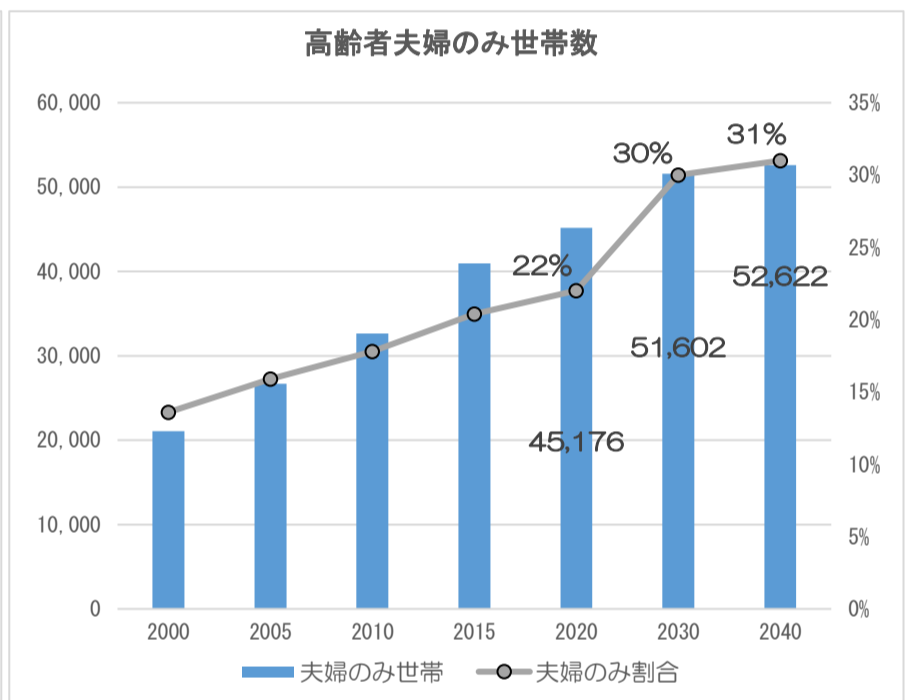
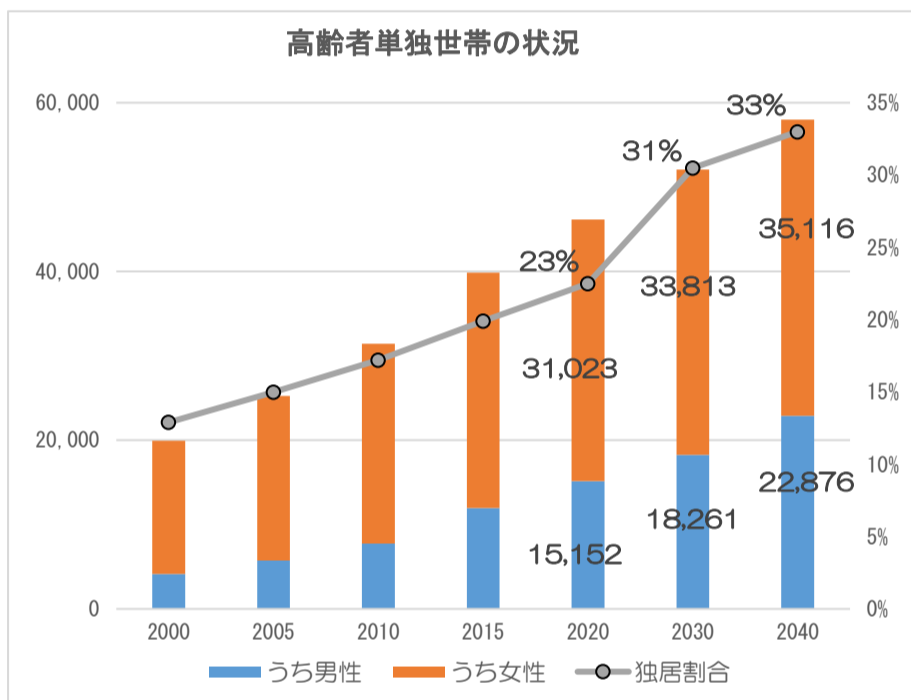


- 総人口は1998年のピーク(1,126千人)から減少が続いている。
- 2030年頃、医療・介護ニーズが高いと思われる75歳以上人口がピークを迎えると推計されている。
- 現在、約3人に1人が高齢者であり、全国より早いペースで高齢化が進んでいる。

(出典) 2000年～2015年まで：総務省「国勢調査」  
2020年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

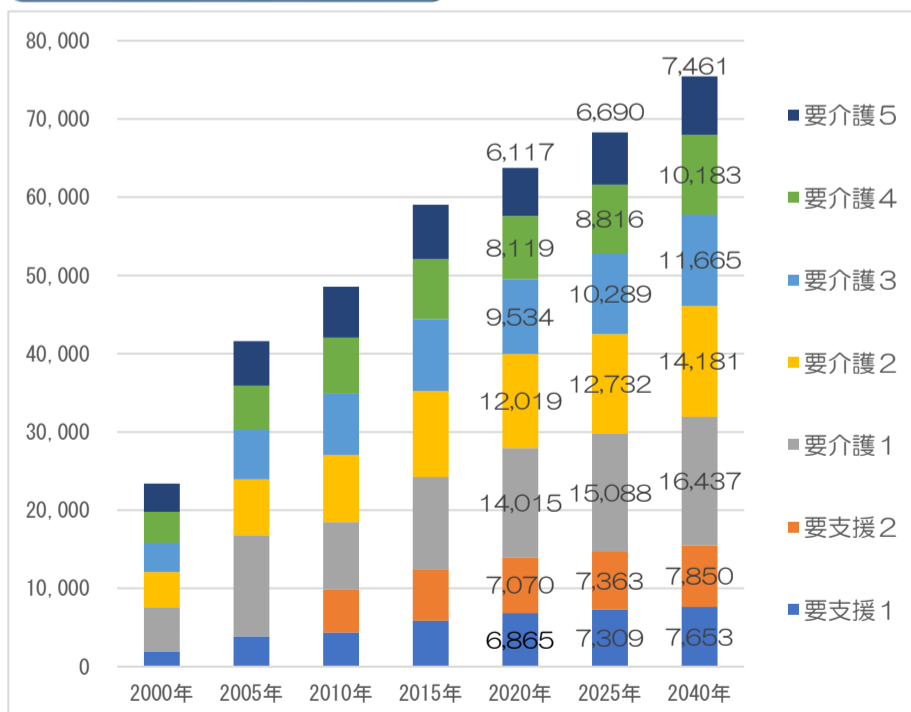
2 高齢者のいる世帯の状況と推計

• 高齢者単身世帯数、高齢者夫婦のみ世帯ともに増加を続けている。

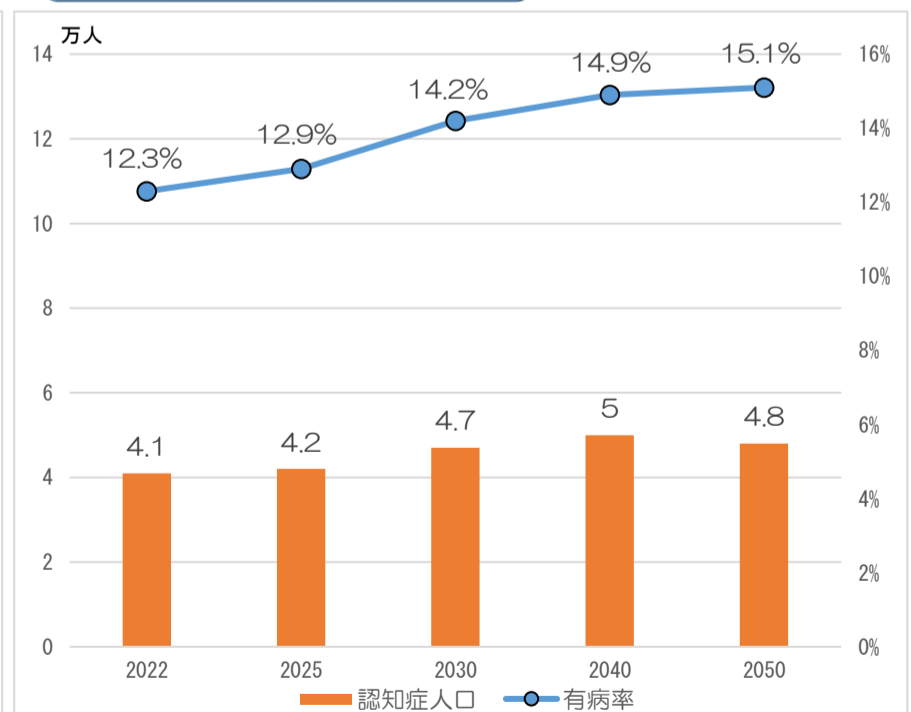


(出典) 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

3 要介護認定者数と推計



4 認知症高齢者の状況と推計



2023年：要介護認定者数 65,510人(うち中重度者 24,104人)  
2025年：要介護認定者数 68,287人(うち中重度者 25,795人)

(出典) 介護保険事業状況報告(月報 各年3月)

県人口が減少する一方で、有病率が増加するため、人口に占める認知症人口は増加し、2050年には高齢者の約6人に1人が認知症となる。

(出典)  
・人口 2022年以前：国勢調査  
2025年以降：富山県高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業支援計画  
・「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」(令和5年度老人保健事業推進費等補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)をもとに算出